

要 旨

試験委託者

環境省

表 題

シクロヘキセンのオオミジンコ (*Daphnia magna*) に対する繁殖阻害試験

試験番号

第12013号

試験方法

本試験は、OECD 化学品テストガイドライン No. 211「オオミジンコ繁殖試験」(1998 年)に準拠して実施した。

- 1) 被験物質：シクロヘキセン
- 2) 暴露方式：半止水式(48 時間毎に試験水の全量を交換)
- 3) 試験生物：オオミジンコ (*Daphnia magna*)
- 4) 暴露期間：21 日間
- 5) 試験濃度(設定値)：
対照区，助剤対照区(ポリオキシエチレンソルビット脂肪酸エステルとアセトン混合液，助剤濃度；100 μ l/l)，1.0，1.5，2.2，3.2，4.6，6.8 および 10 mg/l
公比；1.5
- 6) 試験水量：80 ml/容器
- 7) 連 数：10 容器/濃度区
- 8) 試験生物数：10 頭/濃度区(1 頭/容器)
- 9) 試験温度：20 \pm 1 $^{\circ}$ C
- 10) 照 明：室内光，16 時間明/8 時間暗
- 11) 分 析 法：ヘッドスペースーガスクロマトグラフ質量分析法

結 果

1) 試験水中の被験物質濃度

被験物質の測定濃度が設定値の±20 %を超えたものがあったため、各影響濃度の算出には測定値(時間積み付け平均値)を採用した。

2) 21 日間暴露の各影響濃度結果を以下に示す。

親ミジンコの半数致死濃度(LC ₅₀)	: 1.4 mg/l	(95 %信頼限界: 1.2~1.6 mg/l, Probit 法)
50 %繁殖阻害濃度(EC ₅₀)	: 1.0 mg/l	(Doudoroff 法)
最大無作用濃度(NOEC)	: 0.74 mg/l	(Dunnett の多重比較検定法)
最小作用濃度(LOEC)	: 1.2 mg/l	(Dunnett の多重比較検定法)